

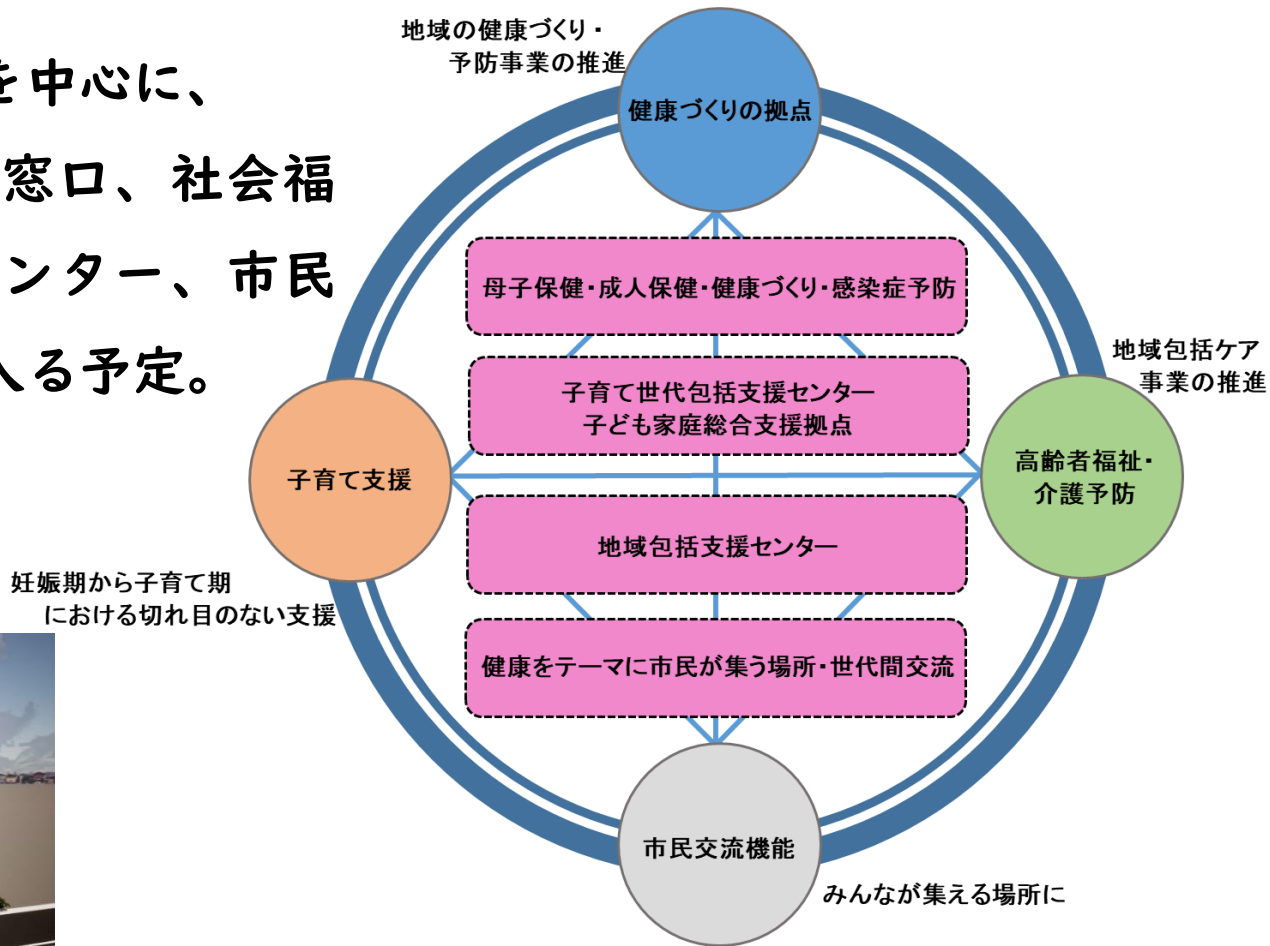
新保健福祉施設の概要

こどもから高齢者まで、全ての市民が健康で安心して暮らし続けるための健康づくりや子育ての総合的な支援拠点。

施設には保健センターを中心に、子育て窓口、高齢福祉窓口、社会福祉協議会、包括支援センター、市民交流機能（3F）などが入る予定。



【施設完成イメージ】



【新保健福祉施設コンセプト】

新保健福祉施設ってどこにできるの？



建設予定地

敷地面積：2,442.32㎡

＼済生会健診センターと同じくらい／

予定延床面積：約2,700㎡

【階別の主な機能】

1階 市民窓口エリア（約1,200㎡）

北側：福祉窓口（行政）、社会福祉協議会、地域包括支援センター
南側：健康窓口、子育て窓口（行政）

2階 保健福祉エリア（約750㎡）

健診スペース、健診待合ロビー、プレイルーム、おひさまクラブ

3階 市民交流エリア（約750㎡）

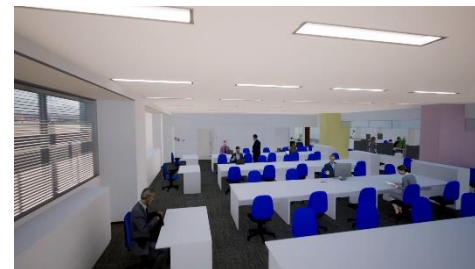
パブリックスペース、コミュニティホール（2室）、ミーティングルーム（3室）、キッチンスタジオ

新保健福祉施設で何ができるの？

新保健福祉施設 … 様々な用途が同居する “複合施設”

1階 市民窓口エリア

主に健康・子育て・福祉に関する事務手続きや相談を行う場所。施設内には行政窓口のほか、社会福祉協議会と地域包括支援センターが入居予定。



1階 南側事務室

2階 保健福祉エリア

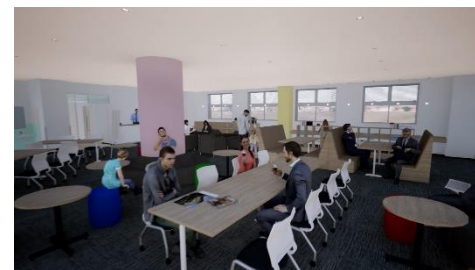
主に健診で使用。成人検診、母子健診（乳幼児健診）、婦人科検診など、各種健診の会場となる。



2階 健診待合室

3階 市民交流エリア

健康・子育て・福祉をきっかけとして世代間交流を図る場所。大きく、市民が自由に出入りできるオープンスペースと貸館機能を有する会議室・調理室で構成されている。施設内では各種講座やイベントを展開予定であり、管理運営は民間事業者が行う。条例では「多世代交流センター」という名称。



3階 パブリックスペース

今回は、

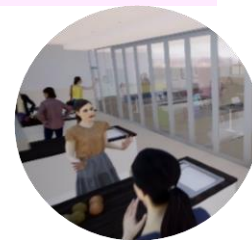
施設3階 多世代交流センター

の愛称募集となります！

多世代交流センターについて

◎3階 多世代交流センターの特徴

- ✓ 休館日は12月29日から翌年1月3日（年間6日間の休館）
- ✓ 午前9時から午後9時までの開館
- ✓ パブリックスペースは予約不要で誰でも使用可能
- ✓ パブリックスペース、キッチンスタジオは飲食可
- ✓ 施設予約にオンライン予約を実装（市公式LINEを使った予約システムを想定）
- ✓ キャッシュレス決済導入
- ✓ 健康・子育て・高齢者福祉に関する各種講座やイベントの実施
- ✓ 施設やイベントの広報など
- ✓ 市民及び市民団体への施設貸出（原則有償での貸出し）
- ✓ 施設内の貸出備品としてスクリーン、電子黒板、ポータブルスピーカーを用意



市内では前例のないサービスを提供する施設となるため、施設の管理運営は、他自治体や民間施設での実績を有する民間事業者に依頼し、民間の知見やノウハウを活用することで、より良質な住民サービスを提供します。

特に、健康・子育て・高齢者福祉に関する講座・イベントの企画は、民間事業者の経験や発想力を存分に発揮いただくことを期待しています。

3F多世代交流センターの活用イメージ

- 空間イメージ：**くつろぎの空間で、新たな出会いや発見が溢れる“ぷらっと Space”**
- ターゲット層：【メイン】市内在学の中学生・高校生・大学生
【サブ】中高齢者、乳幼児連れの親子

【利活用想定】

●学生の居場所づくり

⇒施設周辺には中学校・高校・大学が集まっているが、そのつながりは薄い。また、放課後に中高生が安全・安心に過ごすことができる空間がない。予約不要で誰でも立ち寄り、過ごすことができる場所を提供し、自然発生的な世代間交流や新たな発見の場とする。宿題や課題をこなせる学習スペースとしての活用も◎

●囲碁・将棋などを通じた中高齢者の居場所づくり

⇒オープンスペースで、共通の趣味を通じて、中高齢者の新たな出会いや生きがいづくりにつなげる

●市民の語らいの場

⇒様々な形のテーブルを用意し、意図的に多世代交流の機会を創出。また、オープンスペース内は飲食可とすることで、全世代の誰でも気軽に利用しやすい空間を意識。

●健康体操（介護予防教室）

⇒中高齢者をターゲットに、市民の健康に寄与する活動や講座を展開（大会議室は一定の遮音機能あり）

●スタジオとしての活用

⇒学校の吹奏楽部や、音楽活動を自宅で自由にできない方が多目的に使用できる環境を整備。また、民間事業者によるダンス教室やエアロビクス教室の開催なども想定。

●クッキング講座

⇒キッチンスタジオを整備し、離乳食教室などの母子向けのコンテンツだけではなく、市民の食生活改善や男性向けの料理教室など、“食”への関心を高めるコンテンツを展開。

●可動式ディスプレイの配備

⇒学生の総合学習、市民団体や民間事業者の打合せを想定し、可動式ディスプレイを各部屋に配備。将来的には定住促進イベントや就職フェア等の活用も視野に入れる。

●WEB予約システム・スマートロックの導入

⇒会議室等はWEB上で予約を行い、電気錠で入退出を管理できる仕様とする。

●健診の待合

⇒2階で健診を実施する際の待合スペースとして活用。

3F 多世代交流センターの施設レイアウト

※レイアウトは現時点のものであり、供用開始時は変更となる場合がありますのでご了承ください。

◎画像はイメージです

